

## 外国語活動 学習指導案

学校名 海田町立海田西小学校  
授業者 HRT 須山 理恵  
JALT 鈴木 めぐみ

- 1 日時 平成28年11月25日(金) 第5校時
- 2 学年 第6学年1組 男子9名 女子11名 計20名
- 3 単元名 Dream 6-7 「夢宣言」をしよう  
〈Hi, friends! 2 Lesson 8 What do you want to be? (職業, 将来の夢)〉

### 4 単元について

- 本単元は、将来の夢を題材としており、どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、単元の最後には、各児童がどのような職業に就きたいかを発表する「夢宣言」という活動を設定している。

この「夢宣言」で用いる表現は、中学校英語科では第2学年教科書(SUNSHINE ENGLISH COURSE 開隆堂) My Project 5「スピーチをしよう—こんな人になりたい」でも使用する。したがって、本単元で学んだことを中学校での学習に生かすことができる活動である。

- 本学級の児童は毎週1時間(モジュール2回)の外国語活動の授業に意欲的に取り組んでいる。1年生の時から外国語に慣れ親しむ活動をしており、3年生からは日本人外国語指導助手(JALT)の鈴木先生との授業も継続して行っているため、外国語に対して楽しいイメージをもち活動している児童が多い。Dream 6-3(Lesson 3 できることを紹介しよう)では、積極的に友達に「できること」を尋ねたり答えたりしていた。また、全員がcanを使った表現を用いて、自分の得意なことを発表した。しかし、新しい表現の仕方や単語を理解するのに時間がかかる児童が数名おり、個別に対応している。
- 指導に当たっては、職業を表す語や友達と夢を尋ねたり答えたりする言い方に児童が十分慣れるように、繰り返し聞いたり話したりする活動を多く設定する。単元の始めに、単元末に中学校の先生に向けて「夢宣言」(Show and Tell)を行うことを示しておき、中学校の先生に自分たちを知ってもらおうという目的意識をもって活動に取り組んでいけるようにする。また、学級担任やJALTがスピーチのモデルを最初に示し、活動のゴールを明確にさせておく。そのゴールに向かって、児童が自分の発表をイメージしながら、相手意識をもって発表できるよう取り組ませる。そして、学級担任が積極的に英語を使おうとすることで、児童が間違いを恐れず進んでコミュニケーションを図ろうとする雰囲気づくりを行っていく。

### 5 単元の目標

- 積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 職業を表す語や、どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  
【外国語への慣れ親しみ】
- 自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。  
【言語や文化に関する気づき】

## 6 単元の評価規準

- 相手意識をもって、自分の将来の夢について紹介したり、友だちの発表を積極的に聞いたりしている。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 職業を表す語を聞いたり言ったりしている。
- 就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。  
【外国語への慣れ親しみ】
- 自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることや、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。  
【言語や文化に関する気づき】

## 7 主な使用表現

- ・ What do you want to be? I want to be a teacher. I want to ~.
- ・ doctor, cook, farmer, florist, singer, firefighter, soccer player, bus driver, cabin attendant, vet, zookeeper, comedian, baker, dentist, artist などの職業名

## 8 単元計画（5時間【（1～3時）6モジュール＋（4，5時）2時間】）

時	目標と主な活動	評 価				
		コ	慣	気	評 価 規 準	評 価 方 法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。</li> <li>・職業を表す語に慣れ親しむ。</li> </ul>		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。</li> <li>・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。</li> </ul>	行動観察 振り返りカード分析
	A <ul style="list-style-type: none"> <li>○職業を表す言い方を知ろう。</li> <li>・「この人の職業は？」</li> <li>・「いろいろな職業の言い方を知ろう。」</li> </ul>					
	B <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな職業名を言おう。</li> <li>・「いろいろな職業の言い方を練習しよう。」</li> <li>・「職業カルタ」</li> <li>・「他の職業名も言ってみよう。」</li> <li>・「職業当てクイズ」</li> </ul>					
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	行動観察 振り返りカード分析
	A <ul style="list-style-type: none"> <li>○なりたい職業を尋ねたり答えたりする表現を知ろう。</li> <li>・「なりたい職業の言い方を知ろう。」</li> <li>・「なりたい職業を尋ねる表現を知ろう。」</li> <li>・【Listen】だれの夢か考えよう。</li> </ul>					

	<p>○友だちの夢をたずねてみよう。</p> <p>・【Chant】 What do you want to be?</p> <p>・【Play】 友だちに夢についてインタビューしよう。</p>				
3	<p>どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○自分の夢を英語で言おう。</p> <p>・【Chant】 What do you want to be?</p> <p>・【Activity】 3人の夢宣言を聞いて、メモをとろう。</p> <p>・「自分の夢と、その職業になりたい理由を考えよう。」</p> <p>○「夢宣言」の準備をしよう。</p> <p>・「分かりやすく伝える順番を考えて、『夢宣言』の原稿を完成させよう。」</p> <p>・「発表の練習をしよう。」</p>		○	<p>・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。</p>	<p>行動観察 振り返りカード分析</p>
4 本 時	<p>・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。</p> <p>○自分の思いが伝わる「夢宣言」をしよう。</p> <p>・「発表方法の確認をしよう。」</p> <p>・「夢宣言」</p> <p>・『人物当てカルタ』をしよう。」</p>		○	<p>・相手意識をもって、自分の将来の夢について紹介したり、友だちの発表を積極的に聞いたりしている。</p>	<p>行動観察 振り返りカード分析</p>
5	<p>・自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知る。</p> <p>○自分の思いが伝わる「夢宣言」をしよう。</p> <p>・「先輩たちの将来の夢を知ろう。」</p> <p>・「夢宣言の原稿を清書しよう。」</p>		○	<p>・自分の周りに様々な夢を持つ同年代の子どもがいることに気付いている。</p>	<p>行動観察 振り返りカード分析</p>

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

### (2) 本時の評価規準

相手意識をもって、自分の将来の夢について紹介したり、友だちの発表を積極的に聞いたりしている。

### (3) 主な使用表現

What do you want to be? I want to be a teacher. I want to ~.

### (4) 準備物

絵・文字カード, ICT教材, 発表用ワークシート, カルタ

(5) 本時の学習展開

過程	学習活動 ◎語句への慣れ親しみ	指導上の留意事項 (◇) ◎語句への慣れ親しみ ◆「努力を要する」 状況と判断した児童への指導の手立て ★めざす子どもの姿	評価規準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶をする。</p> <p>◎4線に書かれた月日・曜日・天気 の絵と文字のカードを見て確認する。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>◇はっきりとした声で、気持ちのよい 挨拶を交わす。</p> <p>◎音声と文字が結びつくように、カ ード提示後再度発音させる。</p>	
<p><b>中学校の先生に、自分の思いが伝わる「夢宣言」をしよう。</b></p>			
展開	<p>○「発表方法の確認をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず全員で発表の表現を確認する。</li> <li>・発表の際の言い方、発表の順番、評 価のしかたを確認する。</li> </ul> <p>・聞き取りワークシートの書き方を知 り、聞くときの態度についても考え る。</p> <p>○「夢宣言」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけメモを見ないで、一人ず つ発表を行う。</li> <li>・他の児童は発表を聞き、聞き取りワ ークシートに記入する。</li> </ul>	<p>◇発表の手順や、聞く児童が発表前に “What do you want to be?” と尋ね、 発表後に “Good luck!” と声をかける ことを伝える。</p> <p>◇話すときのスピードなども意識し て、相手に伝わるように話す言い方 を考えさせる。</p> <p>◇聞き取るときにメモするポイント を確認する。</p> <p>◇相手意識をもった話し方や、表情な どを意識するよう支援する。</p> <p>◆児童が自信をもって言えるように、 近くで支援する。</p>	<p>・相手意識をも って、自分の将 来の夢につい て紹介したり、 友だちの発表 を積極的に聞 いたりしてい る。【コ】[行 動観察・振り 返りカード 点検]</p>
<p><b>★【めざす子どもの姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識をもって、自分の将来の夢について紹介したり、友だちの発表を積極的に聞いたりしている。</li> </ul> <p>発表者：Hello. My name is Kaita Hanako. 聞き手：What do you want to be? 発表者：I want to be a singer. 聞き手：Why? 発表者：I like music. I can sing well. I want to be a singer. Thank you. 聞き手：Good luck!</p>			

	<p>○「人物当てカルタ」をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに、クラスの児童の名前カードを机の上に広げる。</li> <li>・指導者の読む「夢宣言」を聞き、聞き取りワークシートに記入したことを思い出し(見)ながら、誰のものかを考え、カードを取るというカルタ遊びをする。</li> </ul>	<p>◇職業名やポイントとなる語が聞き取れるように、強調して読む。</p>	
ま と め	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の先生から、「夢宣言」についての感想を聞く。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇相手意識をもって、自分の夢に対する思いがきちんと伝わるように工夫していた点に気付かせ、良かった点をほめる。</p>	

(6) 板書計画

<p><b>Today's goal</b></p> <p>中学校の先生に、 自分の思いが伝わる 「夢宣言」をしよう。</p>	<p><b>Clear voice</b> (絵カード)</p>	<p><b>Eye Contact</b> (絵カード)</p>	<p><b>Smile</b> (絵カード)</p>	<p><b>Friday</b></p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">November</td> <td style="text-align: center;">twenty-fifth</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">sunny (絵カード)</td> </tr> </table>	November	twenty-fifth	sunny (絵カード)															
November	twenty-fifth																					
sunny (絵カード)																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 2px solid blue;">発表者 speaker</td> <td style="text-align: center; border: 2px solid red;">聞き手 listener</td> </tr> <tr> <td>①Hello. _____ Hello.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②My name is _____.</td> <td>What do you want to be?</td> </tr> <tr> <td>③I want to be a (an) _____.</td> <td>Why?</td> </tr> <tr> <td>④I like _____.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤I can _____.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥I want to be a (an) _____.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦Thank you. _____</td> <td>Good luck. → ワークシート記入</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; border: 2px solid red;">         もう一度言い直してもらいたい時・・・ "One more time, please."          日本語で言ってほしい時・・・ "Japanese, please."       </td> </tr> </table>					発表者 speaker	聞き手 listener	①Hello. _____ Hello.		②My name is _____.	What do you want to be?	③I want to be a (an) _____.	Why?	④I like _____.		⑤I can _____.		⑥I want to be a (an) _____.		⑦Thank you. _____	Good luck. → ワークシート記入	もう一度言い直してもらいたい時・・・ "One more time, please." 日本語で言ってほしい時・・・ "Japanese, please."	
発表者 speaker	聞き手 listener																					
①Hello. _____ Hello.																						
②My name is _____.	What do you want to be?																					
③I want to be a (an) _____.	Why?																					
④I like _____.																						
⑤I can _____.																						
⑥I want to be a (an) _____.																						
⑦Thank you. _____	Good luck. → ワークシート記入																					
もう一度言い直してもらいたい時・・・ "One more time, please." 日本語で言ってほしい時・・・ "Japanese, please."																						